

感染症に注意しましょう

～備えあれば楽しい海外旅行～



海外では、日本で発生していない感染症が多くあります。

これからの観光シーズンに海外に出かける人は、楽しい海外旅行となるように、出発前に渡航国の感染症情報をしっかり調べて、適切な感染予防を心がけましょう。

特に注意が必要な感染症予防について紹介します。

●麻しん(はしか)～帰国後の発症者の報告が増えています！～

- アジアの多くの国は、はしかの流行国です。また、イタリア、ルーマニアを含むヨーロッパ地域では、はしかの大規模な流行が起きています。
- 現在日本でののはしかの発生はなく、海外で感染した人が帰国後発症しています。
- 感染すると、肺炎や中耳炎を合併しやすく、脳炎が発症することもあります。
- 麻しんウイルスは非常に感染力が強く、空気感染もします。予防接種が最も有効な予防法です。
- 予防接種を受けたことのない人、1回しか接種していない人は、海外渡航前に予防接種を受けましょう。
- 帰国後、はしか症状(発熱、せき、目の充血、発しん等)が認められたら、公共交通機関や人が集まるところを避け、事前に連絡の上、医療機関を受診してください。



海外渡航のための予防接種のお問い合わせ先

- 奈良県立医科大学附属病院感染制御内科海外渡航者外来 0744-22-3051(代)
- 奈良西部病院トラベルクリニック 0742-51-8700(代)

●マーズ(MERS:中東呼吸器症候群)～「ラクダ」にはご注意ください！～

中東地域はMERSの流行国であり、感染源は現地にいるヒトコブラクダです。

- 感染すると重い肺炎などの呼吸器症状を引き起こし、死亡に至ることもあります。
- 特別な治療方法やワクチンはありません。
- 中東でラクダに乗る、肉を食べる、乳を飲む等の行為は危険です！
- 中東諸国で上記のようにラクダに接触した人は、発症していなくても帰国時に検疫所で申告が必要です！
(14日間、検疫所の健康監視下に置かれる場合があります)

ホテルの
中庭にもいます



中東ではラクダに
近づかない！

● Dengue熱、ジカ熱 ～蚊に刺されないように注意！～

蚊を媒介した感染症が世界的に多く報告されています。特に熱帯・亜熱帯地域では Dengue熱、中南米地域ではジカ熱が流行しています。

- どちらも、頭痛、関節痛、発疹等の症状があります。
- 特別な治療方法やワクチンはありません。
- 屋外で肌を露出しない、蚊除け剤を使用するなど防蚊対策を心がけましょう！
- ジカ熱は一般的には重症化するリスクは低いですが、妊娠中の母親からお腹の赤ちゃんへ感染する可能性が指摘されており、妊婦や妊娠の可能性のある人の流行地への渡航は特に気をつけましょう。



渡航前に必ずチェック！ →

- 厚生労働省検疫所HP <http://www.forth.go.jp/>
- 外務省 海外安全HP <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

＜お問い合わせ先：奈良県保健予防課 0742-27-8612＞